

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要						
事業開始年度	平成17年度		根拠法令・例規等	地方公務員法第7条第4項		
総合計画	大項目 基本目標	06 健全で自立したまちづくり	問 担当課(室)	総務課職員係		
	中項目 基本施策	01 簡素で効率的な行政運営			職・氏名	係長・高橋清隆
	小項目 施策	04 人事管理			電話	0869-64-1808
事務事業名	03 公平委員会事務委託事業		このシート作成に要した時間	0.5 時間		

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	市民サービスを提供する全職員を対象とする	
目的(何のために)	職員の利益の保護と公正な人事権の行使を保障するため、設置する	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	職員の利益の保護と公正な人事権の行使を保障するため、手続きに従い適正に処理が行われること	

事業の実績				
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	公平委員会事務委託事業	職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分を審査等事務を岡山県に委託していることから、その費用を負担する等の事務		

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
決算額	事業費	千円	30	30	30
	必要人員	人	0.00人	0.00人	0.00人
	事業費	千円	30	30	30
財源	国庫支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他()				
	一般財源		30	30	
	受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	公平委員会の対応件数	説明	委託料対価としての対応を結果指標にしています。		
	結果指標量		0	0	0
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円	30	30	30
	単位当たりコスト		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の成果						
申立て件数	成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
		目標値(A)	0	0	0	0
		実績値(B)	0	0	0	到達目標値
	達成率(B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明						
申立て件数が少なれば少ないほど、施策展開が順調であるにとらえこの指標にしています。						

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください>	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい A
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい A
	手段	受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい A
	市民参画度	法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	現状のまま継続する						

総合評価		
現状のまま継続する。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい A

平成26年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	現状のまま継続する					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

Check

Action